

平成21年度 教育行政執行方針

詳細 学校教育総務企画課 ☎32-6739

掲載内容は抜粋です。全文はホームページと市役所2階情報コーナーでご覧いただけます

教育長 山田 眞久

http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/ から学校教育総務企画課へ



教育委員会では、社会情勢と教育を取り巻く環境の変化を踏まえ、若小牧市教育推進の重点に基づき、関係部局や関係機関・団体との連携を図り、教育行政の推進に取り組みます。

学校教育の充実

すべての子どもが、自立して社会で生き、豊かな人生を送ることができるよう、その基盤となる知・徳・体のバランスの取れた力を育てるとともに、社会を形成する市民として必要な資質を養うことが求められています。今年度は次の4点を重点に取り組みます。

1 社会で活躍する実践的な力の育成

学力向上の取り組みとして、知識や技能の習得、活用する力をはぐくむ学習指導の充実、学習習慣の確立を目指したり、フレットによる啓発を行います。また、実践的な力を育成する施策として、外国語指導助手を一人増員して小学校英語活動に対応したり、教育支援員や介添員を増員して特別支援教育を推進します。

2 豊かな心と健やかな身体の育成

社会の責任ある一員として自立するために、基本的な生活習慣や社会生活を送る上で持つべき最低限の規範意識、生命の尊重、他者への思いやりなどを子どもたちに培うことが重要です。そのため、いじめ・不登校対策として、新たに心の教室相談員の訪問相談業務を行うとともに、「いのちの授業」を継続して実施します。

3 信頼される学校づくりの推進

学校教育には、信頼を基盤とした開かれた学校づくりを進めることが求められています。そのため、学校評価を充実させ、学校運営の改善充実を図ります。また、教職員の資質を高めるため、民間の講師を活用した研修講座を開催します。施設環境の整備として、耐震診断を促進し、危険校舎の耐震化などを推進します。



4 地域全体で子どもを守り育てる体制づくりの推進

地域の人々が学校の活動に協力し、社会全体で子どもを守り育てることが求められています。そのため、学校の要請に応じて必要な支援を地域のボランティアが行う学校支援地域本部事業を、清水小学校および開成中学校で推進します。また、子どもの安心・安全を確保するため、教育研究所において「地域安全マップ」を作成する研修講座を開催します。

平成21年度の予算が決まりました

今年度の予算は、昨年秋季以降の景気後退の影響もあり、例年にも増して限られた財源の中で、より効率的に住民ニーズに応えるため、担当部署の考え方を尊重して決定しました。今回は、施政方針の重点施策と主要施策の内容に沿って、主な事業予算と今年度予算の中身をお知らせします。

詳細 財政課 ☎(32)6212

重点・主要施策の予算

エコライフ大作戦（53ステージ）
「地球環境」、「資源環境」、「自然環境」、「環境教育」を柱に、エコ意識の向上とエコ活動の実践を促進
予算額 2,320万円



企業誘致
●企業誘致活動経費
引き続き、積極的な企業誘致活動を展開
予算額 470万円
●企業立地振興条助成金
既存の進出企業に対するフォローアップ
予算額 1億3,565万円

景気・雇用対策
●新規高等学校卒業生雇用奨励金事業
新卒高校生の採用企業に奨励金を交付
予算額 1,000万円
●市単独緊急雇用対策事業
委託先で新たな雇用を生む事業の実施
予算額 3,000万円
●ワークシェアリング事業
市の業務のワークシェアリングを実施
予算額 2,000万円

福祉施策
●妊婦健康診査助成臨時拡大事業
妊婦健診に必要な経費の助成を5回から14回へ拡大
予算額 8,000万円
●教育・福祉センター管理運営経費
予算額 4,061万円

教育行政
●第1学校給食共同調理場移転新築事業
予算額 4億5,760万円
●（仮称）錦岡児童センター新築事業
予算額 1億6,780万円
●（仮称）沼ノ端健康増進施設建設事業
体育館・トレーニング室・通年温水プールなど多機能を持つ施設の新設
予算額 5億4,300万円

在日米軍再編問題
●再編交付金事業
沼ノ端コミュニティセンター増改修整備事業など全7事業
予算額 1億9,535万円
●苦小牧中央インターチェンジ
●苦小牧中央インターチェンジ調査業務
橋梁予備設計・地質調査ほか
予算額 1,250万円

主要施策の予算

分類	事業名	予算額	内容
健やかで安心・安全に暮らすまち	児童虐待防止およびDV被害者保護活動事業	103万円	相談体制の強化、民間シェルターへの補助
	地域子育て支援事業	2,030万円	育児不安などについての相談指導、子育てサークルへの支援
	保育園洋式便器設置事業	200万円	保育園の和式便器を洋式化
	母子家庭自立支援給付金事業	650万円	母子家庭の母の就業支援
	介護予防・生活支援事業	892万円	体の弱い一人暮らしなどの老人の緊急通報機器貸与など
	福祉のまちづくり推進事業	425万円	公共施設バリアフリー化推進事業など
	児童デイサービス事業	489万円	児童デイサービス事業の対象を就学児まで拡大
	夜間・休日急病センター開設経費	779万円	夜間・休日急病センター建設費の元利償還金相当分の支払い
	市立病院事業	3,350万円	大動脈バルーンポンプほか医療機器の整備
	国民健康保険事業	1,491万円	人間ドック、脳ドック、PET-CTがん検診受検料の助成など
活力ある産業・賑わいのまち	自主防災組織育成事業	50万円	自主防災組織への活動助成、リーダー養成講座の開催
	錦岡川改修工事	1,750万円	錦岡川の護岸工事、転落防止柵設置など
	救急車両整備事業<再編交付金事業>	3,070万円	高規格救急車の車両・救命資機材の更新
	道の駅建設事業	8,870万円	道の駅建設に係る外構整備工事および初年度調弁費など
	テクノセンター設備整備事業	329万円	新たに万能試験機の制御装置更新
	畜産担い手育成総合整備事業費	247万円	草地整備を実施する畜産農家への支援
	森林整備事業	1,055万円	高丘森林公園台風被害の復旧など
	ビジッ苦小牧観光会議設置事業	20万円	観光振興を目的とした会議の設立
	中心市街地活性化対策事業	243万円	空き店舗活用支援、中心市街地イルミネーション事業の補助など
	自然と環境にやさしいまち	公害測定機器整備事業	450万円
ふれあい収集事業		80万円	一人暮らしのお年寄りなどで、ごみ出しが難しい方のごみ収集
一般廃棄物処理基本計画等策定業務委託事業		600万円	「苦小牧市一般廃棄物処理基本計画」の見直し
公園整備事業		4億8,814万円	公園などの整備、施設の改良
水道事業		13億2,500万円	配水管新設工事、配水管改良工事、錦多峰浄水場設備の更新など
下水道事業		23億6,300万円	管渠整備、合流式下水道改善、西町下水処理センター設備の更新など
市営住宅事業		8億149万円	明徳団地の建替えを継続
道路整備事業		15億350万円	各路線の整備、交通安全施設整備等
自動車運送事業		1,757万円	バス待合所設置、車両の更新
苦小牧市新公共交通システム構築事業		77万円	協議会を設置し、今後の公共交通のあり方について検討
手をこまねておぼろげなまち	総合福祉会館等補助	500万円	澄川町総合福祉会館修繕などに対する助成
	ねりんピック北海道・札幌2009苦小牧市実行委員会補助	1,270万円	9月のねりんピック開催経費に対する補助
	男女平等参画推進事業	123万円	苦小牧市男女平等参画基本計画（第2次）に基づく関連施策の推進
	国際交流サロン・在苦外国人交流事業	510万円	国際交流サロンでの日本語指導などを通じ、在苦外国人と交流

社会教育の充実

社会教育は、生涯学習社会の構築のうえで重要な役割を担っています。第三次生涯学習推進基本計画で定めた基本目標のもと、多種多様な学習ニーズに応えるため、次の5点の施策を重点に取り組みます。

1 生涯学習の推進

「生涯にわたる学習意欲を高め、豊かな心と自立の力を育て、人と人が連帯する活力のある学びの環境づくり」と、学びを生かした人づくり、まちづくりを目標に、「生涯学習だより」の発行やホームページの活用などで、広く学習情報提供を行うとともに、「出前講座」などすべての世代の学習支援を行います。

2 青少年の健全育成

子どもたちが健やかに成長するために、家庭・地域社会の取り組みが重要です。子育て支援として、各児童センターで家庭での子育て学習会を行なうとともに、学童保育の充実に向け、拓勇小学校およびウトナイ小学校の留守家庭児童会の学級増を図ります。また、西部地区の青少年健全育成事業の拠点として、市内7館目となる「（仮称）錦岡児童センター」の建設に着工し、22年度の開設を目指します。

3 文化芸術の振興

心豊かで活力ある社会の実現のため、

文化芸術活動の促進が必要です。今年度は新たに音楽や絵画、書道などのアーティストが、学校など、子どもや地域の人々が集う場所に出向いて、文化芸術を身近に体験してもらう「アウトリッチ事業」を行います。また、市内の文化団体への助成事業の補助率を増加させ、活動促進に努めます。

4 社会教育施設の充実

多様な学習ニーズに応えるため、施設の機能向上が必要です。博物館では、電ケ岡文化の遮光器土偶などを展示公開する特別展などを開催します。科学センターでは、ミール記念誌の作成や展示活動などを行います。

5 スポーツの振興

いきいきと活力ある社会の実現のため、スポーツの振興が必要です。そのため、「歩こう！イキイキ健康大作戦」を引き続き実施し、健康管理の意識の向上を図ります。体育館や通年温水プールなどの機能を持つ（仮称）沼ノ端健康増進施設の建設に着工し、22年度中のオープンを目指します。

